



ソヨン・イム

東亜大学インターディシプリナリー・スターディーズ・カレッジ助教授

【略歴】

ソヨン・イム博士は韓国釜山市に設立された、東亜大学インターディシプリナリー・スターディーズ・カレッジ助教授である。ソウル大学にて科学技術論(STS)で博士号を取得。ジェンダー、倫理及び技術の横断を研究テーマに、とりわけ人工知能、医療技術、および STEM において女性が直面する課題に焦点を当てている。

イム博士の論文は、『Social Studies of Science』、『East Asian Science, Technology and Society』、『Asian Women』などの主要ジャーナルに掲載されている。著書に『Women of No Mystery』(2022 年)がある。原書は韓国語で、女性の視点から科学技術を論評し、テクノサイエンスにおけるフェミニスト的な実践を提案している。同書は、フェミニスト STS への貢献が広く認められ、韓国で一般市民から大きな関心を集めた。2024 年には日本語訳(邦題『神秘的じゃない女たち』)も出版された。

イム博士は、2018 年から 2020 年まで、韓国国立研究財団のプロジェクトを主導し、科学技術分野において女性の参加とリーダーシップを促進するための戦略を探求した。現在は、韓国男女平等・家族省のジェンダー・インパクト評価中央委員会の委員を務めている。また、Deep Fiction Convergence Lab の一員として学際的な AI 研究にも携わっている。